

会議録【全文筆記】

会議名称	第8回（令和7年度第3回）米沢市総合計画審議会	
開催日時	令和7年7月14日（月） 午後3時00分～午後4時30分	
開催場所	委員会室	
出席者	（委員等氏名） （所属団体等）	会長 野々村美宗 山形大学工学部 副学部長 会長代理 田中明子 米沢商工会議所 理事・事務局長 委員 岩崎令子 米沢観光コンベンション協会 副会長 委員 大和田浩子 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 学部長 委員 加藤公一 米沢市芸術文化協会 副会長 委員 川野敬太郎 米沢青年会議所 理事長 委員 川村麻耶 団体職員 委員 栗原裕俊 米沢市内高等学校校長会 会長 委員 斎藤美綺 株式会社nitorito 取締役 デザイナー 委員 須貝容子 米沢市保育会 前副会長 委員 清野雅好 米沢市社会福祉協議会 地域支援課長 委員 平山博志 山形県自主防災アドバイザー 委員 松田智博 米沢市商店街連盟 理事長 委員 我妻康次 米沢市コミュニティセンター館長会 前会長
欠席者	委員 伊藤優子 株式会社ニューメディア 前取締役米沢センター長	委員 小関洋子 米沢市青少年育成市民会議 副会長
	委員 小山克成 米沢市小中学校校長会	
	委員 佐々木隆行 JA 山形おきたま米沢地区青年部 前委員長	
	委員 島倉邦広 米沢市電子機器機械工業振興協議会 相談役	
	委員 土田良雄 米沢市スポーツ協会 会長	
事務局	市長、副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局長、政策企画課長、政策企画課長補佐兼総合計画策定室長、政策企画課上席専門官、政策企画課企画調整主査、政策企画課主任、政策企画課主事	
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議事 (1) まちづくり総合計画（案）について (2) パブリック・コメントの実施について 5 閉会	
会議資料	(1) 次第 (2) 名簿 (3) まちづくり総合計画（案）……………資料1 (4) まちづくり総合計画（案）概要版……………資料2 (5) 総合計画審議会及び議会等における意見等について……………資料3 (6) パブリック・コメントの実施について……………資料4 (7) 前期重点プロジェクトと重要目標達成指標等の関係性について…参考資料1 (8) 成果指標の設定根拠等について……………参考資料2	

会議内容

【1 開会】

省略

【2 会長あいさつ】

皆さん、こんにちは。ただ今から第3回審議会を始めさせていただきます。今まで委員の皆様からたくさんの御意見をいただき感謝申し上げます。今回は皆様からいただいた御意見を基に改訂版を準備いただきました。本日は事務局から改訂版を説明いただき、皆様には御指摘、御意見いただければと思います。本日も活発に議論いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【3 市長あいさつ】

皆様、こんにちは。本日は暑い中、貴重なお時間をいただきありがとうございます。総合計画の議論も大事な局面を迎えております。官民関係なく政策を何のために立案し、実行するかというところを経世済民ということだと思います。そのため、我々は施策を実行し、それぞれの立場で行動するということだと思います。今風に言えばウェルビーイングということになり、幸福度を高めることだと思います。「よねざわ しあわせ ビジョン 2035」と銘打ちましたが、1つは成長の源であるひとづくり、教育を中心に基盤を作ること、もう1つは災害をはじめ予測できない状況であっても、地域の暮らしを守ることを切り口に好循環を作っていきたいと思っています。皆様の御意見を聞き、議論いただきながら1つの方向性を示していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【4 議事】

(1) まちづくり総合計画（案）について

(資料1～3に基づき説明)

- | | |
|-----|---|
| 委員 | 70 ページの雪対策の成果指標に「市民アンケートによる雪対策全般について満足に感じている人の割合」を追記いただきましたが、地域として支え合う精神を醸成することが重要であるという趣旨の意見でしたので、この成果指標とは少し異なると思います。 |
| 事務局 | 全体の体系を申し上げますと、総合計画が最上位計画となり、その下に個別の計画があります。雪対策については雪対策総合計画があり、成果指標に「地域の支え合いによる除排雪事業に取り組む団体数」があります。このことから、成果指標は個別計画ではそれぞれ事業単位で設け、総合計画では包括的な指標として満足度を掲載しました。 |
| 委員 | 成果指標について、1－3の「市内高校生・大学生・大学院生と地元企業のマッチングを目的としたセミナー・ガイダンス・イベント参加人数」や1－4の「文化施設利用件数」がありますが、市内の高校や大学では少子化で定員割れや人が少なくなり母数が減っていますが、今より人数を増やす目標値を設定しているのはどうしてでしょうか。 |
| 事務局 | 市としては人数を増やしていきたいと思っているので、その目標値にしています。 |
| 委員 | 例えば、満足度とか割合とかだと努力した結果が分かりやすいですが、人数ベースだと少子高齢化の影響で分かりづらいと思います。割合で示せると良いと思いますので、検討いただきたいです。 |
| 事務局 | 今は実数を目標値にしていますが、割合で出せないか検討させていただきます。 |

委員	20 ページに基本目標がありますが、なぜこの基本目標になったか分かりませんので根拠を教えてください。もう 1 点は 4 ページの「まちづくりを取り巻く社会情勢」に高度経済成長期につくられたインフラ設備の老朽化対策を入れたほうが良いと思います。それに関連し、21 ページの基本目標 3 にも文言を入れていただきたいです。
事務局	1 点目の基本目標の設定の根拠については、前回 6 つあった基本目標を 5 つに整理し、組み直してこのような形になりました。2 点目のインフラ整備の老朽化については、4 ページに全国的な大きなことを書いていますが、老朽化も該当すると思いますので、加筆できるのであれば加筆したいと思います。なお、老朽化対策については、それぞれの施策の中で記載しています。
委員	老朽化対策が個別に入っていることは確認していますが、計画を実施していく上で基本目標に入れたほうが良いのではと思いました。
事務局	基本目標に記載するか検討させていただきます。
事務局	補足しますと、103 ページの「2 健全財政の維持と公共施設等の最適化」に「廃止施設の利活用や不要施設の解体に取り組み、施設の維持管理コストの縮減」とあります。インフラ設備の老朽化については、行財政経営の観点からも様々な手法で取り組んでいかないといけないことを御理解いただきたいです。
委員	参考資料 2 は市民も見られるのでしょうか。
事務局	今回の会議資料としてホームページで公表する予定です。
委員	パブコメ用ということですか。
事務局	パブリック・コメント用としては考えておりません。
委員	今回の計画においてウェルビーイングが大きなウェイトを占めてきますが、16・17 ページの説明だけではイメージがつかないと思います。参考資料 2 は地域幸福度の主観指標と客観指標の欄が設けられて分かりやすく説明されているので、簡易的でもこれを見せれば、市民の方も理解いただき、計画も浸透していくと思います。
事務局	パブリック・コメントの際、参考資料も併せて載せるよう検討したいと思います。
委員	防災関係について、27 ページに書かれていますが、町内会が中心になることが多くありますので、町内会の役割の重要性を表現し、町内会自体を考える機会にできればと思います。「地域医療と地域福祉の充実」とありますが、地域福祉と地域防災は両輪であり大切なものですので、「地域医療と地域防災、地域福祉の充実」という形にしたほうが分かりやすいと思います。それと、主な取組に防災組織の記述が出てきません。防災組織づくりをしないといけないことは頭にあるのですが、一步踏み出せないで、「全ての町内会に機能する防災組織をつくる」というようなものを入れていただきたいです。68 ページの施策 3-3 の期待したい行動に「町内会」という言葉を入れていただき、ありがとうございます。ただ、町内会が防災活動の中心となるので、「災害時は地域への支援に努めましょう」という表現は違う気がします。「災害時にはみんなで助け合いましょう」「災害時にはみんなで助け合う仕組みを共有しておきましょう」というような表現にさせていただいたほうが分かりやすいです。69 ページに「図る」や「整備」という表現があり、計画段階ではこれで良いですが、書かれている内容が個別計画に結び付くか考える必要があります。実際には町内会が中心になって行うので、町内会の役割を打ち出したほうが良い気がします。県の自主防災会のアドバイザーと

して、防災活動を支援してきました。今までは要請があったところのみ行っていました。全てのところに行くには時間が掛かるので、各コミュニティセンター毎に集まっていたいただき、具体的なやり方を提示し、町内会毎にできることをやってもらったほうが良いと思います。市全体で機能する防災組織をつくれるよう、個別計画に反映できるような内容に工夫いただきたいです。もう1点、防災士との連携について、市から推薦を受けた方は補助をいただいて防災士の資格が取れますが、実際にその方々がどこの町内会、職場でどのような役割を果たしているか把握をしているのですか。一緒に地域の防災活動に取り組んでいかないといけないので、推薦する際は町内会や職場の防災活動に参加することを条件にはいかがでしょうか。

事務局

1点目の地域防災組織について、委員が言われたようにそれぞれの町内会への働きかけだけでは難しいので、コミュニティセンターとの関わりの中で組織化を進め、町内会で防災の役割を持つ方を集めて研修しないと組織率は上がっていかないと考えています。防災危機管理課と協議しており、具体的な取組として行っていきたいと思っていますが、総合計画の文言を修正するかに関しては検討させていただきます。2点目の防災士について、地域防災に対して積極的に関わっていただくことが大事だと思っています。今でも連携していますが、どこまで深めていけるか検討し、個別計画等の中でやっていきたいと考えています。

事務局

各種施策に町内会という言葉を入れることに関しては検討が必要になると思います。69ページの施策は市が取り組む内容が記載されており、町内会という言葉を入れるには調整が必要だと思います。

委員

あらためて引っかかった点が2つあり、1つが14ページの将来人口の目標が「7万人程度」となっていますが、69,000人でも7万人程度になります。目標なので「7万人以上」というように高く掲げて良いのではないのでしょうか。それと、今年の出生数は2桁ということを知っていますが、10年後を考えた時、35ページの結婚支援に関する施策の内容では弱い気がします。ここに必ずしも書かないといけない訳でないですが、考えないといけない内容でもあると思っています。2点目が老朽化した建物について、築50年以上経っている建物も市の財産として使っているものもあります。今後、学校の統合などが始まり、空いた建物をどう活用するか、どうしても必要な建物の建替えをどうするかについて、情報発信が薄いです。市民向けの情報発信について、どこかに入れていただきたいと思います。

市長

人口のところは大事なところなので、私からお答えさせていただきます。7万人程度という文言は副市長も交えてかなり議論しました。現実問題、米沢市の人口は住民基本台帳ベースで75,000人を切っており、年間1,000人ずつ減っています。10年後、国立社会保障・人口問題研究所の数値は67,000人となっていますが、現実はずっと厳しいです。これまで国をはじめ行政は楽観的な目標を立て、できなかったことを繰り返してきました。その反省から6万数千人でも良いのではという議論もある中、この7万人程度という数値はかなり背伸びをした数値だと思っています。しかしながら、挑戦していこうということを含めて記載しましたので、御理解いただきたいと思います。政策の中身は御指摘のとおり、まだまだ足りないということで今後追加していくことも出てくると思いますが、現状では委員の皆様の議論を踏まえ、まとめさせていただいています。

事務局

結婚支援について、情報発信が薄いとのことでしたが、よねざわ結婚支援

事務局	センターを4月に開設し、6月から結婚を希望される方の登録を受け付けており、今後、重点的に取り組んでいきます。内容としては、お見合いコーディネーターによるお見合いの仲介やよねざわ結婚応援サポーター企業に支援をいただきながら、官民が連携して結婚支援を進めています。今、募集をかけ多くの企業から応募をいただいております、より強力に進めていきます。 老朽化施設ですが、市内に多くの老朽化施設があり、廃校になる学校などの施設の活用は確定していることがないのでお伝えできませんが、解体を含めて庁内で検討を行っております。情報が固まり次第、皆様にお伝えできるよう考えています。情報発信につきましては、99 ページの「1 シティプロモーションと情報発信の推進」で触れさせていただいております。先ほどの施設の利活用を含めて様々な情報を発信していくことが重要であることは理解しておりますので、施策や具体的な取組の情報発信を進めていきたいと考えています。
委員	市民の方々は情報がなくて不安なところがあります。経過についても情報発信していただければ市民の方々は安心できると思います。
委員	38 ページについて、計画に関係ないのですが、コロナ禍が明けてから社会の状態が以前の形に戻らないことが多く、学校教育においても以前のように体験活動ができない状態です。一部の学校では中体連なども応援がなくなり、卒業式も卒業生のみになっているところもあり、こどもたちが頑張る場所がなくなっています。各学校が考えて頑張っていけないところだと思いますが、こどもたちが米沢に誇りを持てるような方向性を検討いただきたいです。
事務局	確かにコロナ禍前後では変わってきています。コロナ禍が明けて以前と全く同じではありませんが、体験が大事だということで大分戻ってきているのではという認識ではあります。教育委員会としては各学校長と話し合いをしながら、体験をどうするか大切に考えて進めていきたいと思っています。
委員	51 ページですが、修正して掲載いただきありがとうございます。観光に来た方に安全であること、景観が美しいこと、活力があることを感じていただくことが基本の目標だと思っています。財政面もありますが、松岬神社なども壊れているところがありますので、直していただきたいと思います。
事務局	松が岬公園の一部の橋の部分のことだと思いますが、有利な財源を活用し、来年度に測量設計をして再来年度以降に工事を進める計画になっています。心配をお掛けしていますが、よろしくお願いします。
委員	59 ページについて、地域企業がこどもたちに向けたイベントだった「わくわくワーク」や「よねざわオープンファクトリー」などがなくなっていることを寂しく感じています。計画に載ることがモチベーションになっていたと思うので、残念に思いました。
事務局	総合計画なので個別の表現は避けて抽象的な表現にしたほうが良いという審議会で意見があり削除しました。実際に取組としては進めていますので、御理解ください。
委員	35 ページの「3 配慮が必要な家庭に対する支援の推進」に「フードパントリー」の取組がありますが、子育て世帯だけの対策になるのでしょうか。
事務局	フードパントリーの事業は今年度から開始し、主にこども家庭課で実施する事業になりますので、子育て世帯を中心に考えています。社会福祉協議会にも御協力いただかないと進めることが難しい事業ですので、よろしくお願いします。

委員	社会福祉協議会でもフードパントリー、フードバンクをしています。これまでひきこもりの方が多かったのですが、最近では高齢の方など社会参加ができていない世帯が増えてきています。ここは地域福祉として、「米沢市全域で困窮世帯に配る」というような文言に修正したほうが良いと思います。
事務局	内部で検討し、再考したいと思います。
委員	26 ページの「市民所得が向上する産業基盤づくり」に「新たな産業団地の整備に向けた取組」とありますが、「若者の定着につながる」という文言をここにも追加しても良いのではないのでしょうか。あと、20 ページの基本目標 2 の文章にある「官民の連携」の「官民」とは何を指すのでしょうか。産学官ということですか。
事務局	「若者の定着」については、18 ページの「周辺地域」の（ii）に明記しております。「官民連携」についてですが、「産学官連携」、「官民連携」など表現がバラバラだったので、「官民連携」で統一させていただいています。そのため「民」の中には「産」をはじめ、それ以外の意味も含まれます。
委員	25 ページで「生涯学び、活躍できる環境づくり」となっており、意味は分かるのですが、「生涯学び」となっていると、1 つの単語のように見えてしまうので、「生涯を通じて学び」という表現にしたほうが良いと思います。
事務局	修正させていただきます。

(2) パブリック・コメントの実施について

(資料 4 に基づき説明)

会長	パブリック・コメントは市で決められている定型のものかと思います。
市長	委員の皆様は真摯に御議論いただき、誠にありがとうございます。これが全てではないですが、これは米沢市にとって背骨のような大事な計画です。10 年間の計画になりますが、企業においても 10 年前の計画をそのまま行う企業はなく、3・4 年程度で回していることが多いです。ここにある計画が全てではなく、環境によっては随時見直していく必要があります。それを前提にしながら、これまで議論いただいたと思っています。絵に描いた餅にしてはならないので、引き続き御指導をいただければありがたいです。本日は貴重な御意見を数々いただき感謝申し上げます。

【5 閉会】

省略